

科目名	作業療法評価学総論			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	作業療法士科1年		必修・選択 必修
〔授業の目的・ねらい〕							
作業療法を実施するためには必要不可欠となる評価の意義や目的及びその流れを学ぶ。また、評価の種類と代表的な検査測定を学ぶ。							
〔授業全体の内容の概要〕							
講義及びグループ発表							
〔講師の実務経験〕							
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕							
①評価の意義と目的を説明できる。②ICFからみた評価を適切に説明で出来る。③評価に必要な考え方及び流れを説明できる。④評価の種類と内容を列挙できる。							
回数	講義内容						
1	評価の意義と目的						
2	作業療法の流れと評価の種類						
3	作業療法の流れと評価の種類						
4	面接法・観察法						
5	ICIDHとICFの違い ICFからみた作業療法評価						
6	評価の流れ、検査・測定をみる①						
7	評価の流れ、検査・測定をみる②						
8	症例を通して、評価の流れ、検査・測定をみる						
	定期筆記試験						

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
標準作業療法学 作業療法評価学 第2版	編集 岩崎テル子他	医学書院
理学療法士・作業療法士 PT・OT基礎から学ぶ 解剖学ノート 第3版		医学書院

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

履修規定に準じ、試験の結果を100点満点として60点以上の場合に合格とする
